



石抜機 ストーンピッカー P-35D (三相200V仕様) 取扱説明書

もくじ

1. 危険防止のために	1
2. ご使用になるまえに	6
3. 運転方法	14
4. 各部の調整・点検・掃除	21
5. 不調な時の原因と対策	25
6. アフターサービスについて	27

このたびは、お買い上げいただき
誠にありがとうございます。



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
この「取扱説明書」をお読みください。

誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品の近くに保存して下さい。

重要なお知らせ



◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。

もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は販売店にお問合せを回答を得るまで作業を進めないでください。

◎この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、販売元・製造元および販売店は一切その責任を負いません。

- 1) 近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は販売店にお問合せください。
- 3) この取扱説明書において、万ページの乱丁や落丁などがあった場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが販売店までご連絡ください。



◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告にしたがってください。




疑問点または不明な箇所があれば、当社または販売店に問い合わせを回答を得てから作業を進めてください。

1. 危険防止のために

1-1 警告用語の種類と意味

◎危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。
この警告ラベルでは危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。

警告

危険防止のために危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。

このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。








守らずに作業をしますとケガをする場合があります。

また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。

新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）

1. 危険防止のために

1-2 本機の使用にあたっての諸注意

 警告	作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警告	本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の周りには決して過熱性の物・電氣的な高容量物コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにしてください。 本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。
 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けてください。 新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）
 警告	当社に無断で本機を改造したり、取り付けられているものを外したり加工をほどこし、本機と関係のない物を取り付けたりは、絶対にしないでください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警告	使用頻度に合わせて本機の点検・清掃は必ず実施してください。 本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。 また、点検・清掃を行う場合は必ず元電源を切ってから作業してください。 守らずに作業しますとケガをする場合があります。
 警告	本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事有資格者又は電気工事資格店にて本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。 自分で勝手に工事はなさないでください。 本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。 また、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合していることを確認後、本機を使用してください。
 警告	本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。


1. 危険防止のために

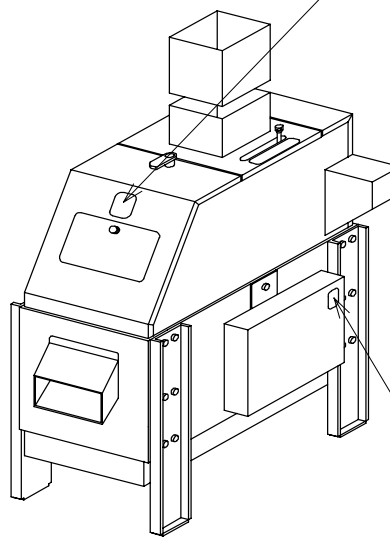
 警告	本機を水につけたり、水のかかる場所や火気の近くでは使用しないでください。 ショート・感電・漏電・火災の原因となります。
 警告	電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。 感電や発火する場合があります。
 警告	改造はしないで下さい。また、修理技術者以外の方は分解や修理をしないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。
 警告	電源プラグの刃（プラグ先端）及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭き、ほこりを取り除いてください。火災の原因となります。
 警告	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
 警告	指定の電源以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
 警告	電源コードを傷つけないでください。 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
 警告	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火の原因となります。



※上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。よく熟読され、必ず守ってください。

1. 危険防止のために

1-3 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明（1）


 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---




 <p>運転中はとびら内に手を入れないでください。可動部に接触するとケガをします。 ケ-9</p>	扉を開けますと内に揺動部があります。運転中にこれらに接触するとケガをします。扉を開ける時は必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。 (コード：260-408-11)
 <p>運転中はカバーを開けないでください。回転部分に接触するとケガをします。 ケ-1</p>	後カバーを開けると伝動部があります。運転中にこれらに接触するとケガをします。カバーを開ける時は必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。 (コード：260-400-10)

1. 危険防止のために

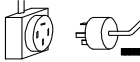
1-4 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明（2）

 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。
---	---



運転前には取扱説明書を熟読し、本機の性能・機能を充分理解してから運転してください。取扱説明書に従わなかったときは本機の性能を充分発揮できず、安全上支障をきたすことがあります。
(コード：260-433-10)

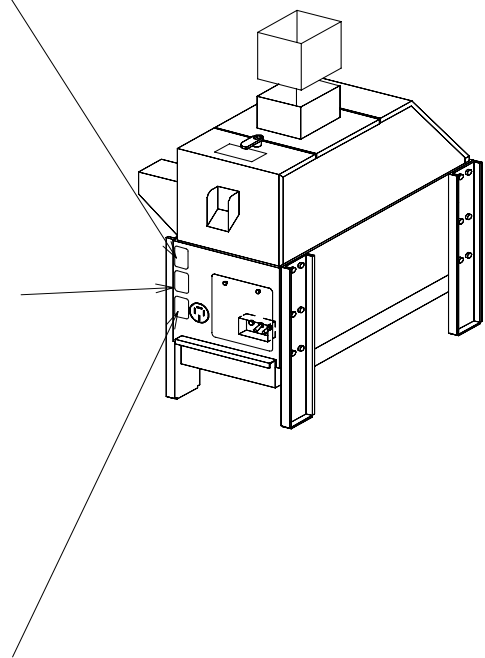
 注意
運転前に、必ず取扱説明書を読んで、操作装置の位置とその機能をよく理解してから運転してください。 チ-4

点検・掃除等の作業を行う場合は危険防止のため必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(コード：260-411-11)

 警告
 点検、修理及び停電の時は、危険防止のため必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。 ケ-12

点検・修理等の作業を行う場合は感電防止のため必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(コード：260-412-10)

 警告
 感電防止のため、カバーを開くときは必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。



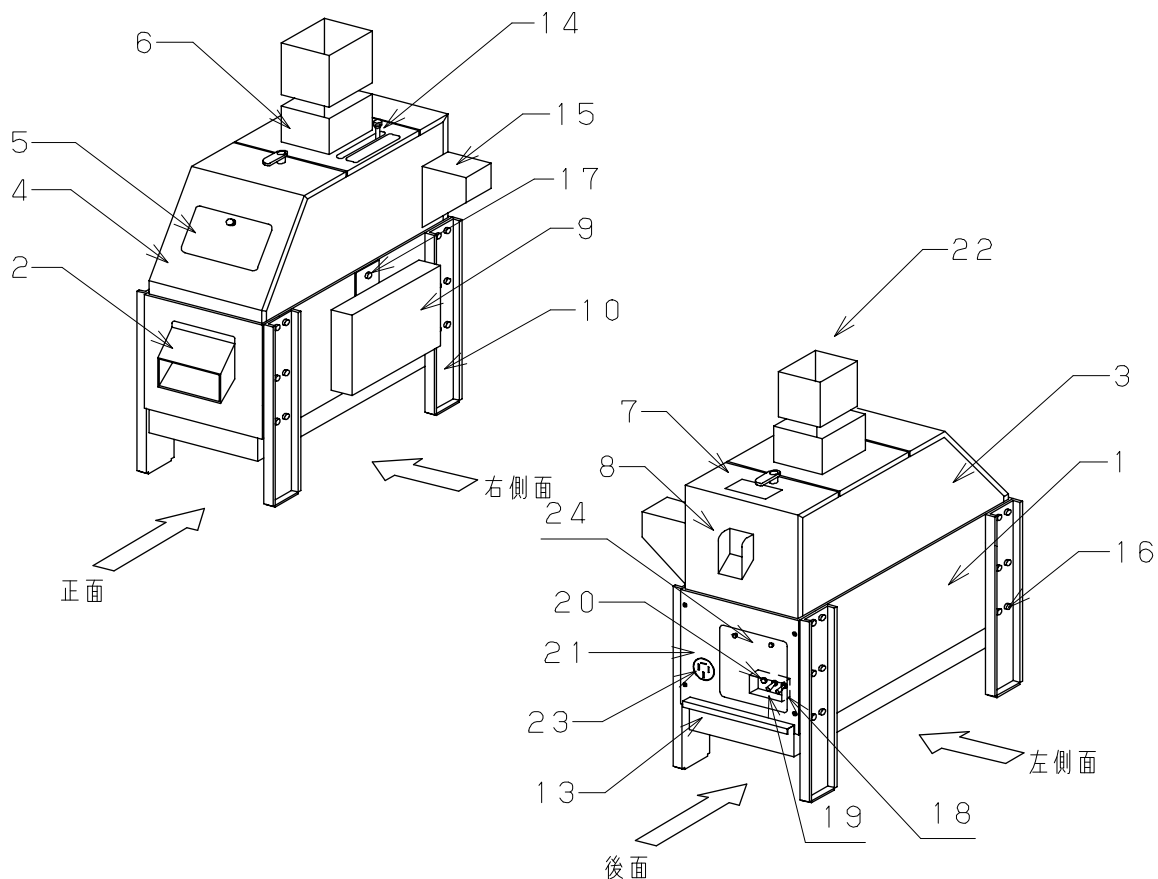
2. ご使用になるまえに

2-1 本機の構成名称



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。



No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
1	本体側板	9	ベルトカバー	17	ベルトカバー止めネジ
2	米排出口	10	高さ調節脚	18	運転スイッチ
3	上カバー	11		19	排出スイッチ
4	前扉	12		20	過負荷異常ランプ
5	ノゾキ窓扉	13	ホコリ箱	21	後カバー
6	米投入口タンク	14	供給シャッターレバー	22	米投入口増タンク
7	後扉	15	自動間欠装置	23	昇降機用コンセント
8	石・残米排出口	16	高さ調節ボルト (M6)	24	電装ボックスカバー

2. ご使用になるまえに

2-2 本機の仕様



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。



注意

電源を接続される場合は、壁に取り付けられているコンセントに直接本機の電源プラグを差し込んでください。コードリール・テーブルタップ（延長コード）等は絶対に使用しないでください。電圧が低下し、本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。

仕 様		
型 式	ストーンピッカー P-35D型	
毎時能力 (kg/h)	玄米	1800 ~ 2100 (30 ~ 35俵)
	白米	1500 ~ 1800 (25 ~ 30俵)
	粳	1200 ~ 1500 (20 ~ 25俵)
外形寸法 (mm)	幅 440 × 奥行 847 × 高さ 1074 ~ 1274	
張込高さ (mm)	894 ~ 1274 (可変)	
米排出高さ (mm)	284 ~ 484 (可変)	
石・残米排出高さ (mm)	555 ~ 755 (可変)	
本機重量 (kg)	60	
定格電圧 (V)	三相 200	
使用モーター (W)	200	
昇降機コンセント	三相 200V 4P 200Wまで	
ブレーカー容量	5A以上	
安全装置	過負荷保護サーマル内蔵 (手動復帰型)	

※ 本機が使用する電源が上記に示す電気的な仕様を十分満足しているか確かめてください。

2. ご使用になるまえに

2-3 電気工事に関する注意



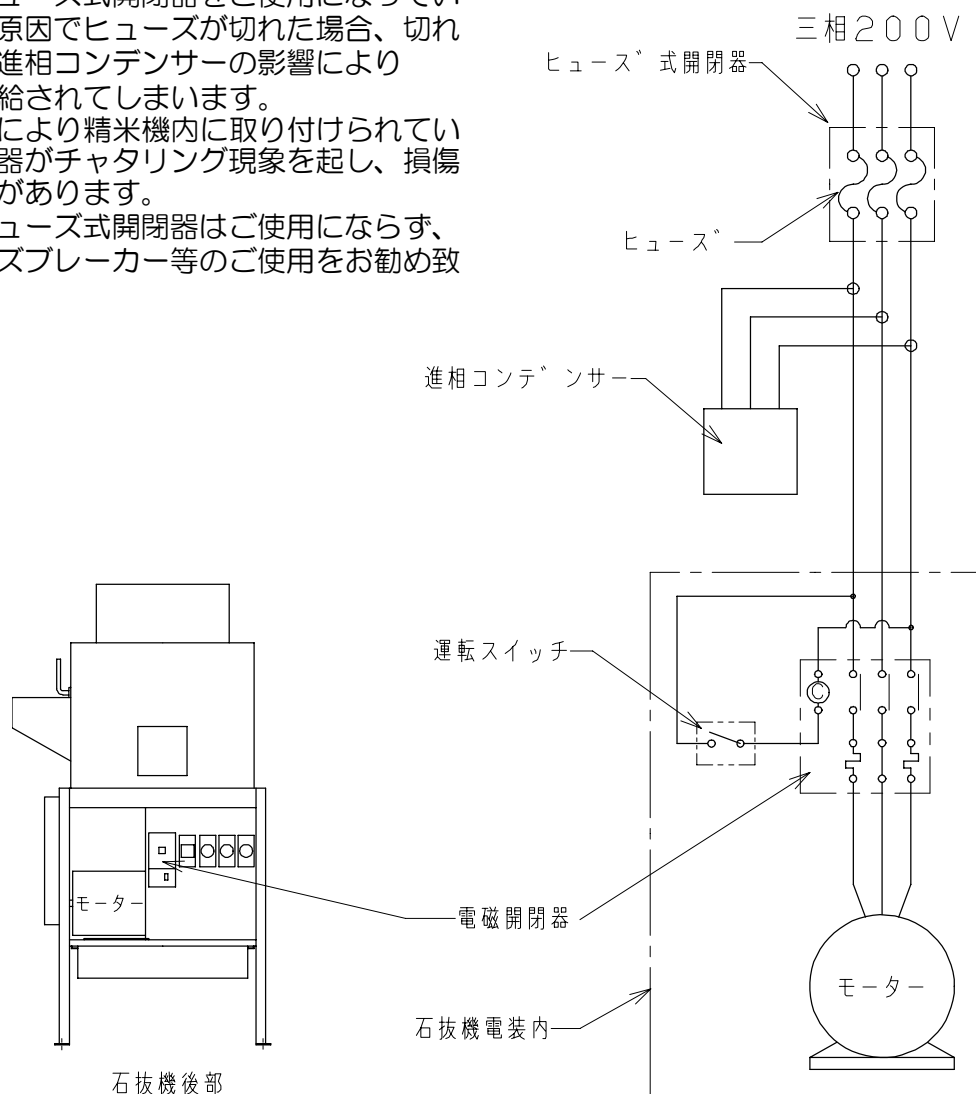
注意

修理及び点検作業を行う場合は、必ず元電源を切ってから実施してください。
感電など安全上支障をきたすことがあります。

◎ 電源仕様及び電源に関する注意事項を下記に示します。

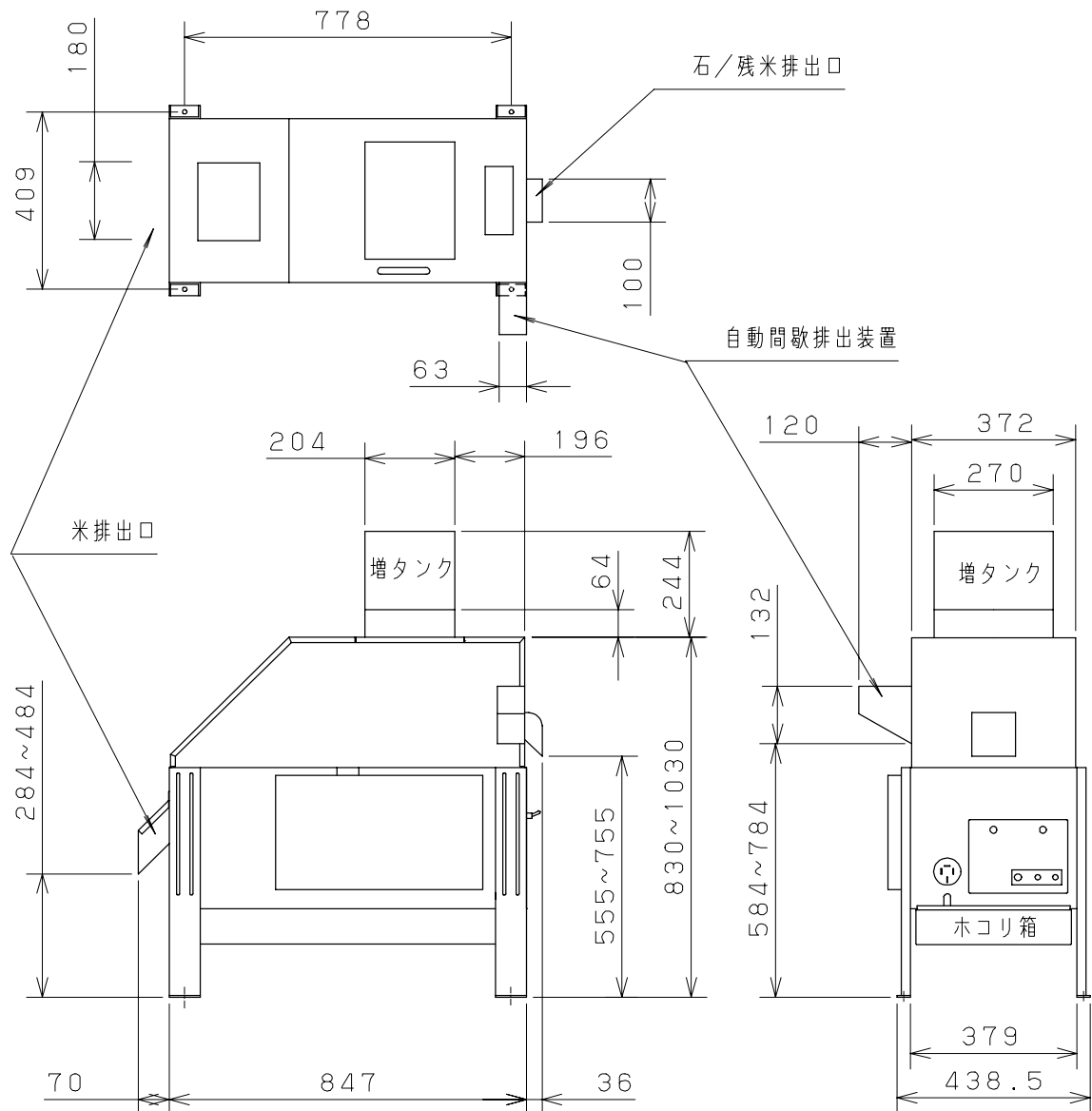
	電 源	モーター容量	ブレーカー容量
P-35D型	三相 200V	200W	5A以上

三相200V電源には必ず右配線図に示すような進相コンデンサーなるものが取り付けられています。これは電気料金の低減が目的であります。お客様でヒューズ式開閉器をご使用になっていて何らかの原因でヒューズが切れた場合、切れた線上には進相コンデンサーの影響により100Vが供給されてしまいます。この100Vにより精米機内に取り付けられている電磁開閉器がチャタリング現象を起し、損傷するおそれがあります。なるべくヒューズ式開閉器はご使用にならず、ノーヒューズブレーカー等のご使用をお勧め致します。



2. ご使用になるまえに

2-4 外形図



2. ご使用になるまえに

2-5 本機の設置に関して



注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。本機の性能を充分発揮できず安全上支障きたすことがあります。作業する際には身の回りに充分気を配り、ケガをしないように注意してください。

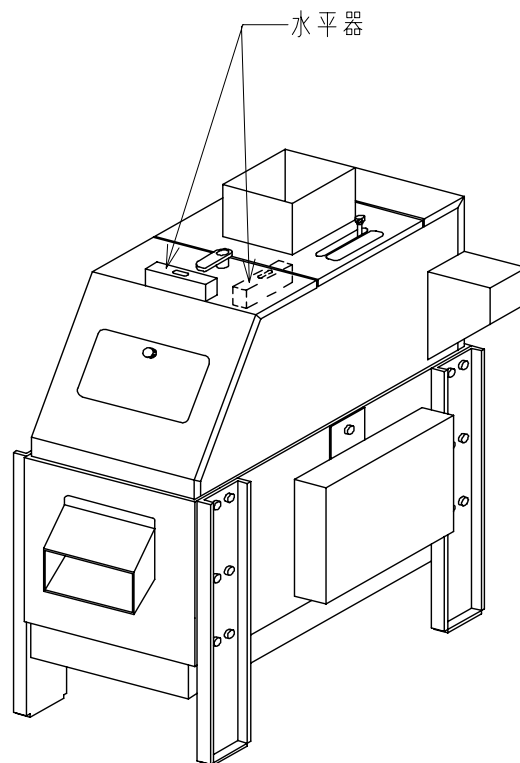


注意

本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し本機の回りには決して過熱性のもの・電気的な高容量物・コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険なものは置かないようにしてください。また、設置する場所は板の間などの床面の弱い所・凹凸な面・傾斜な所は絶対に避けてください。本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。

◎ 下記の点に注意して設置してください。

- ① 本機を所定の位置まで移動します。脚にある高さ調節ネジを調節して本機の高さを固定してください。
(2-6 本機の高さ調節方法参照)
- ② 高さの調節が終わりましたら本機を揺さぶり設置面にガタがないことを確認してください。
(ガタがある場合は設置面を補修するか脚の調節にてガタをなくしてください。)
- ③ 本機に水平器を右図に示すように石抜機の上に置き、本機の左右・前後の水平を確認してください。
- ④ 石抜機への米供給装置（例えば昇降機・糲摺り機など）を正しく設置してください。
(2-7 米供給に関する注意を参照)



※ 本機が水平でないまたは本機の設置面にガタがあると石抜精度が低下します。

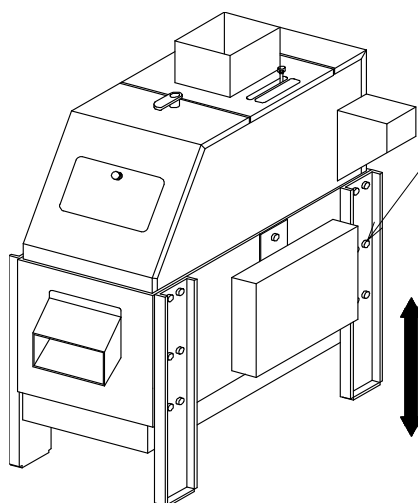
2. ご使用になるまえに

2-6 本機の高さ調節方法



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。



高さ調節ネジ*

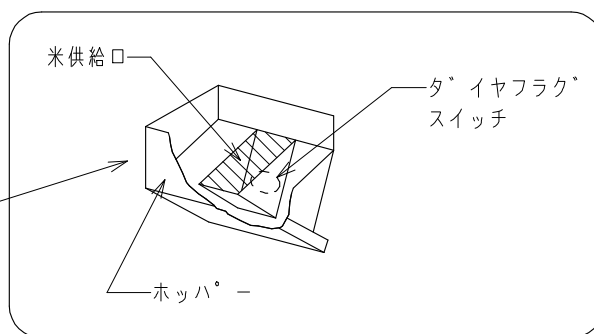
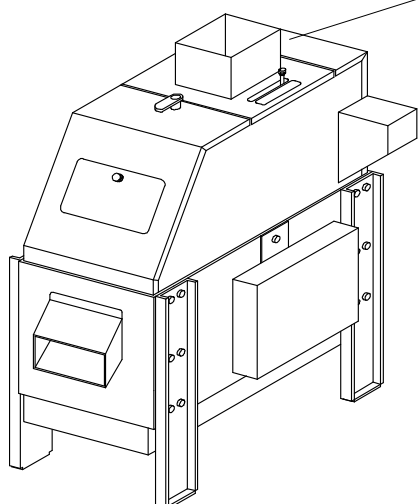
- ① 高さ調節脚の調節ネジ（一脚につきネジ6本）を緩めてください。
- ② ネジを緩めましたら高さを調節してネジを締めて固定してください。

2-7 米供給に関する注意



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。



米を供給する場合、必ず上図に示すホッパー内中央の米供給口に向けて米を供給してください。
正しく米が供給されないとダイヤフラムスイッチが良好に作動せず、自動運転にて支障をきたす場合があります。

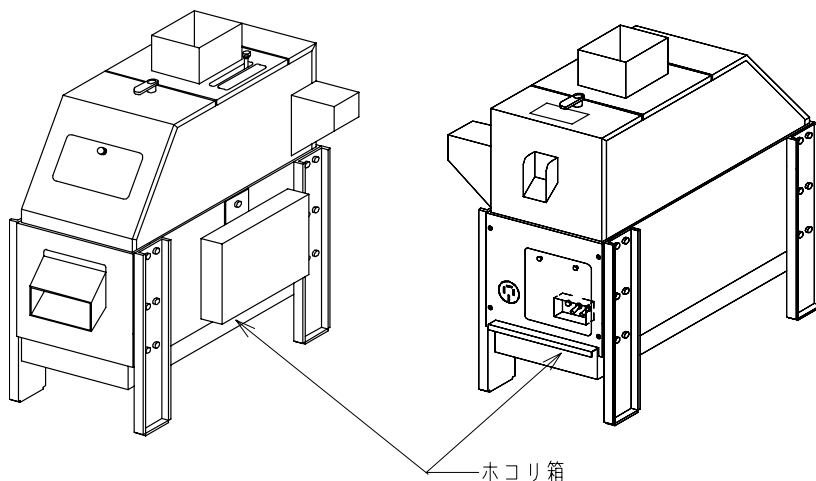
2. ご使用になるまえに

2-8 ホコリ箱のセット方法

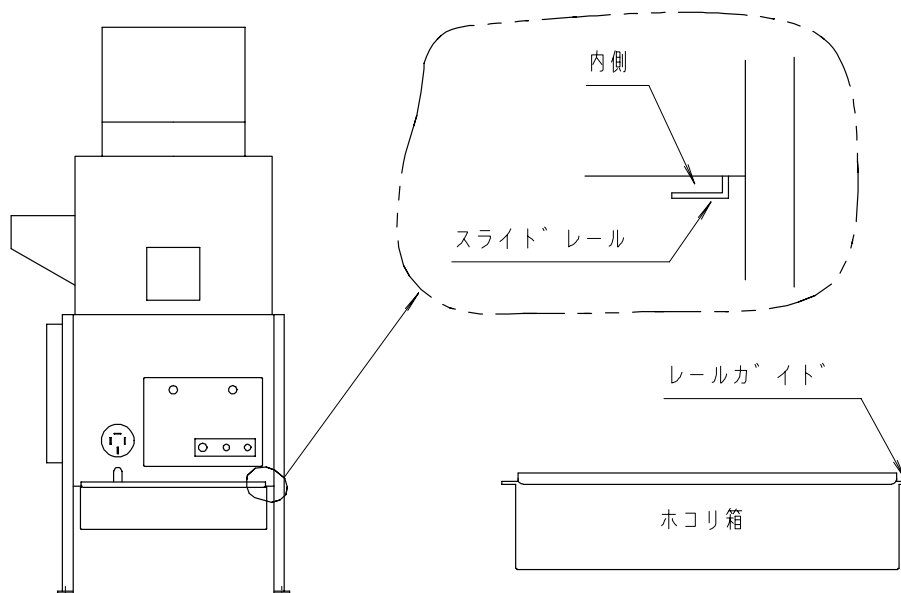


注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。本機のパフォーマンスを充分発揮できず安全上支障きたすことがあります。作業する際には身の回りに充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



ホコリ箱は石抜機の前も後ろでも引き出すことができます。セットする際は下図に示すように石抜機の下にあるスライドレールの内側にホコリ箱のレールガイドを入れて水平に差し込んでください。



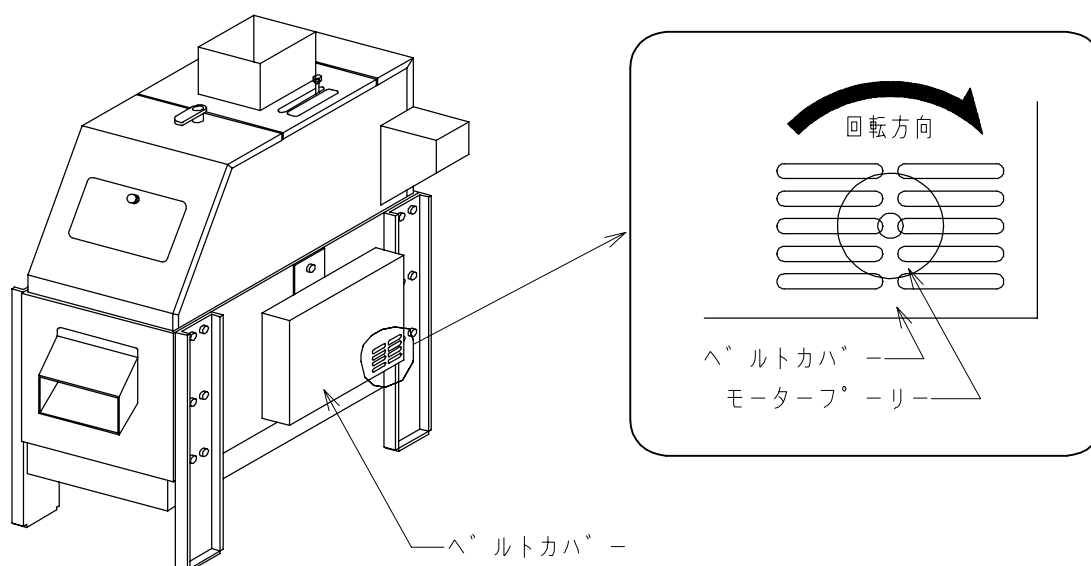
2. ご使用になるまえに

2-9 回転方向の確認



注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。本機のパフォーマンスを十分に発揮できず安全上支障きたすことがあります。作業する際には身の回りに充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



石臼機右側面のベルトカバーの右下に長穴があります。
この長穴から内部のモータープーリーが見えます。
本機を作動（運転方法を参照）させ、内部のモータープーリーが時計方向（右）に回転するのを確認してください。

運転前には必ず回転方向を確認してください。

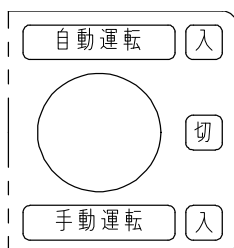
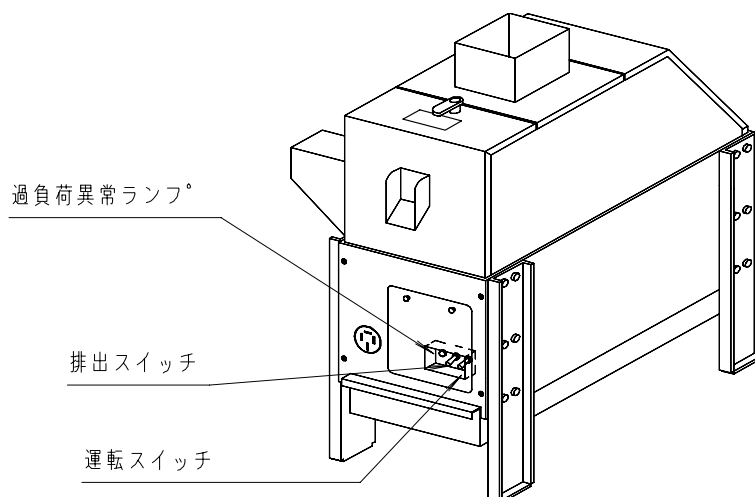
3. 運転方法

3-1 各操作スイッチ及び異常ランプの説明



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



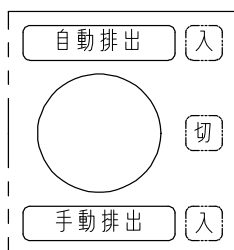
自動運転を開始します（米投入ロタンクへ米を入れると起動し、米がなくなると停止します）



運転停止



強制的に運転を開始します



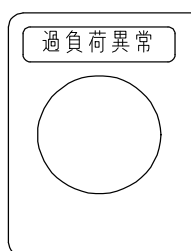
自動間欠装置により自動で石などを排出します



排出停止



強制的に石などを排出します
（米・残米排出シャッターが開く）



石抜機のモーターが過負荷状態になりサーマルがトリップしたときに点灯します

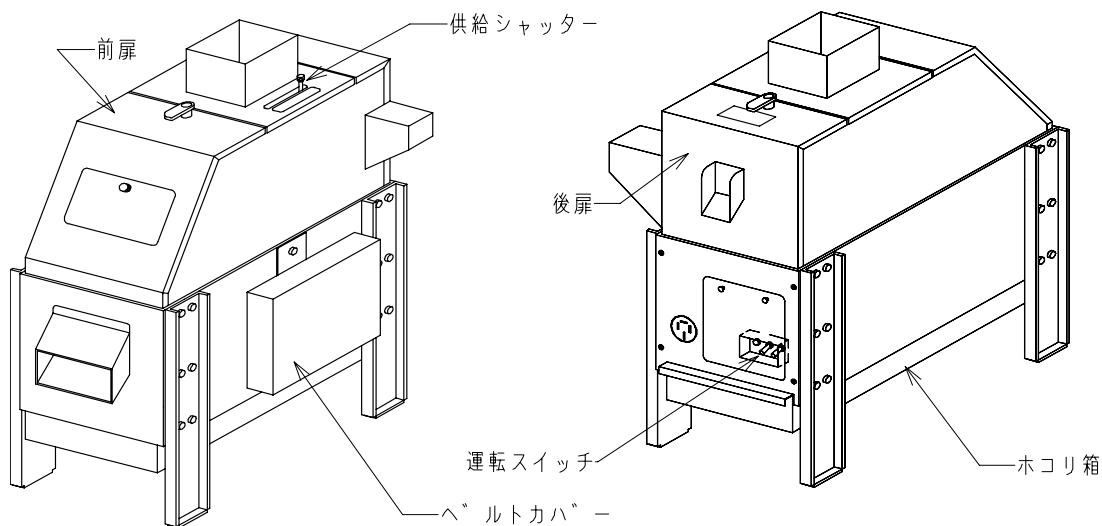
3. 運転方法

3-2 石・残米の取り出し方



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



◎ 運転方法

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 供給シャッターを開けてください。（3-3 供給シャッターの説明参照）

① 自動運転を行う場合

3. 運転スイッチを自動運転にしてください。
4. 米を本機に供給すると自動的に運転が開始されます。
（米を供給する場合必ずホッパー中央の米供給口に向けて米が張り込まれるようにしてください。）
（2-7 米供給に関する注意参照）

② 手動運転を行う場合

3. 運転スイッチを手動運転にしてください。
4. 運転を開始します。

運転時の注意事項

- ① 危険ですので運転中は前扉・後扉及びベルトカバーは絶対に外さないでください。
- ② 運転時にはカスターのストッパーを必ず閉めてください。
石抜機が振動しますと石抜精度が低下します。
- ③ 使用後は必ずホコリ箱の中をチェックして、粃殻・ホコリ・ワラズなどを満杯にしないようにしてください。

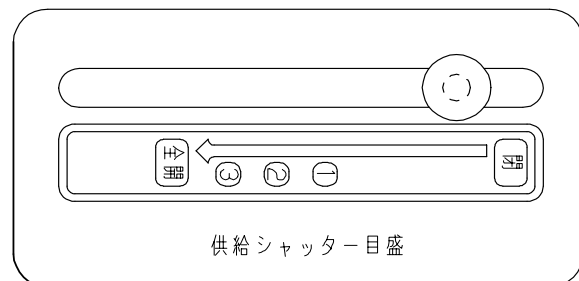
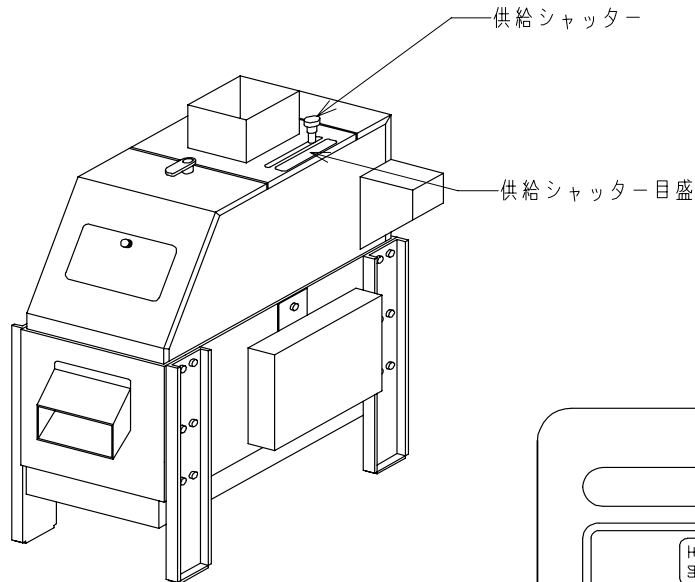
3. 運転方法

3-3 供給シャッターの説明



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



- ◎ 石抜機の毎時能率は供給シャッターが「全開」の位置で通常1800～2100kg/h（30～35表）の能率になります。
（注意）米の状態により能率は多少変動します。

石が取れにくい場合はシャッターを絞って（閉方向）ください。

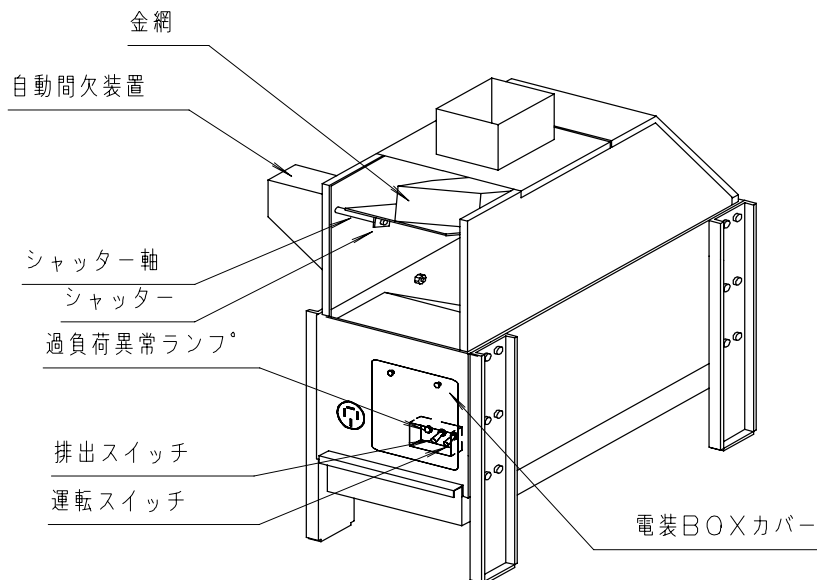
3. 運転方法

3-4 自動間欠装置の説明と調整（1）



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



1. 自動間欠装置の説明

自動間欠装置とは長時間連続的に石抜機を運転される場合などにおいて、いちいち人手によって石の排出を行うめんどろな作業を緩和するため、石抜機内部の金網上部のシャッターをある一定の間隔で自動開閉して石などを排出する装置です。

（玄米に混入している石が多い場合など長時間運転を続けると、石抜機金網の石溜まり部に石が満杯となりオーバーフローして玄米に石が再度混入する恐れがあります。）

自動的にシャッターを間欠開閉して石を排出します。

混入している石の量により排出間欠時間の調整ができます。

（排出される石には若干の玄米が混じった状態で排出されます。）

（間欠時間の調整方法は次ページに示します。）

- ① 自動排出される場合は石抜機後部の排出スイッチを自動排出にしてください。
- ② 自動排出される場合は必ず石・残米排出口の下に容器または紙袋を設置してください。

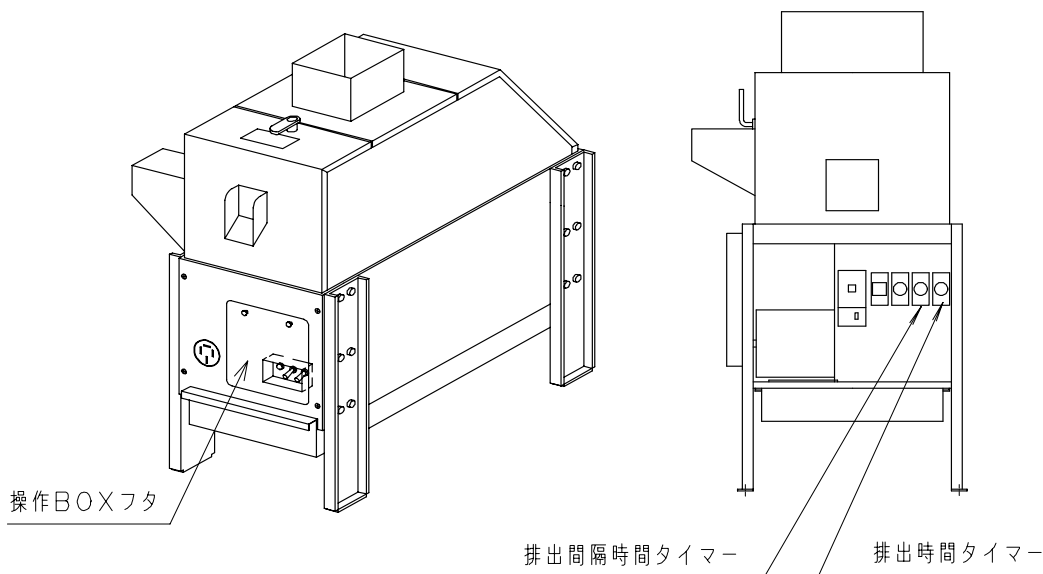
3. 運転方法

3-4 自動間欠装置の説明と調整 (2)



注意

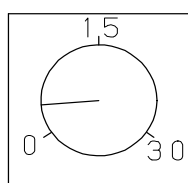
ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



2. 自動間欠装置の調整方法

石抜機後部の電装ボックスフタを外しますと、上右図のように右側にタイマーが3個並んでいます。右端が排出時間タイマーで右から2番目が排出間隔時間タイマーです。下記に詳細を示します。

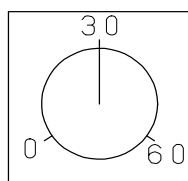
排出時間タイマー



0～30秒

- ◎ 排出時間タイマーは石を排出する時間（シャッターが開いている時間）を調節するタイマーです。工場出荷時は3秒に設定されています。

排出間隔時間タイマー



0～60分

- ◎ 排出間隔時間タイマーは石を自動排出する間隔（シャッターが開閉する間隔時間）を調節するタイマーです。工場出荷時は30分に設定されています。

※ したがって工場出荷時では、30分毎に3秒間石などの排出をするように設定されています。

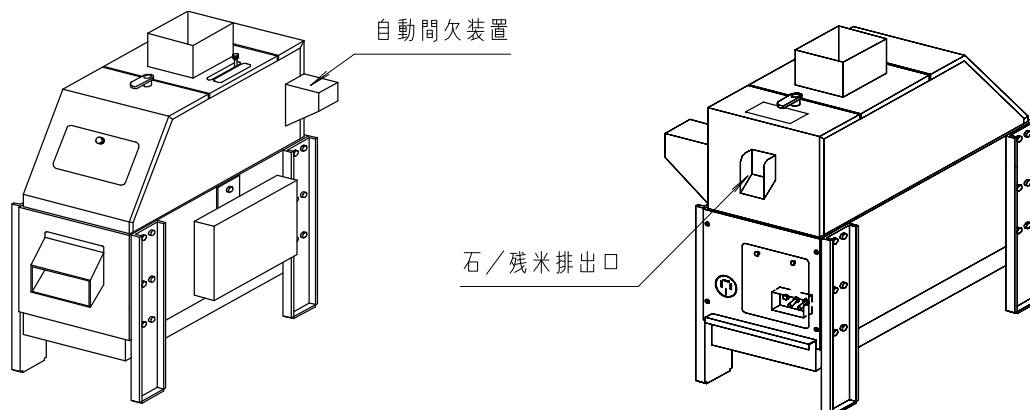
3. 運転方法

3-5 石の取り出し方

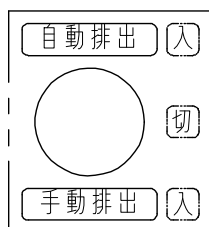


注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



自動間欠装置の排出運転には「自動排出」と「手動排出」があります。



連続で長時間石抜機をご使用になる場合は自動排出にて石を自動排出しますが、石抜作業終了後は石抜内部に残った石と米を手動排出にて排出してください。
(自動間欠装置の説明と調整参照)

下記に手動排出による石・残米の排出方法を示します。

- ① 石の取り出しは石抜機が運転中でなければできません。
石抜機を手動運転にて作動させる。
- ② 石・残米排出口の下に容器を設置する。
- ③ 自動間欠装置のスイッチを手動排出にする。

(手動排出にしますと排出口より石と残米が混ざって排出されます。)

- ④ 石と残米が混ざらなくなる(玄米のみ)まで排出します。
- ⑤ 玄米のみになったら別容器に替えて残米をすべて排出します。

(注意) 石と残米が混ざったものは貯留しておき、石抜機に掛けられる量までになりましたら再選別してください。

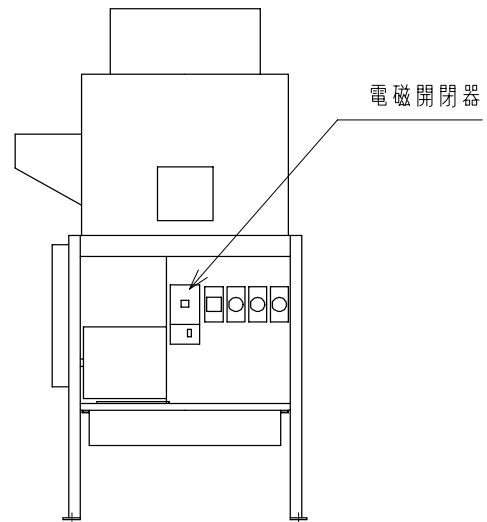
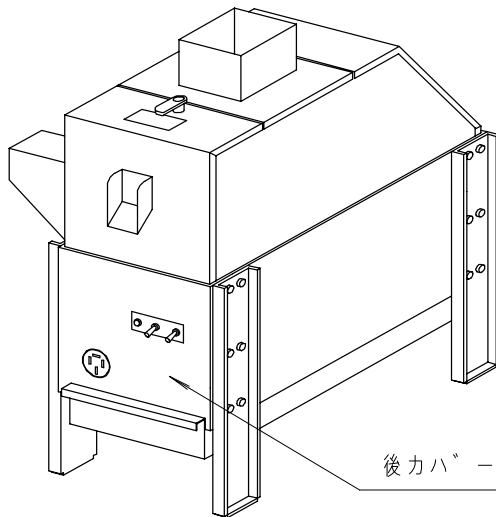
3. 運転方法

3-6 異常ランプが点灯したときのサーマルリセット方法



注意

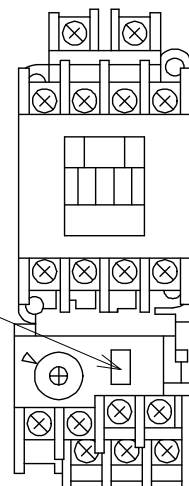
修理及び点検作業を行う場合は、必ず元電源を切ってから実施してください。
感電など安全上支障をきたすことがあります。



◎ 何らかの原因で過負荷異常ランプが点灯した場合、下記に示すように電磁開閉器のサーマルをリセットしてください。

- ① 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 異常の原因を調査し取り除きます。
- ③ 後部の後カバーを外してリセットボタンを押します。

リセットボタン（白色）
このボタンを押すと
過負荷異常が解除されます。



電源を入れて過負荷異常ランプが消灯しているのを確認してください。

4. 各部の調整・点検・掃除

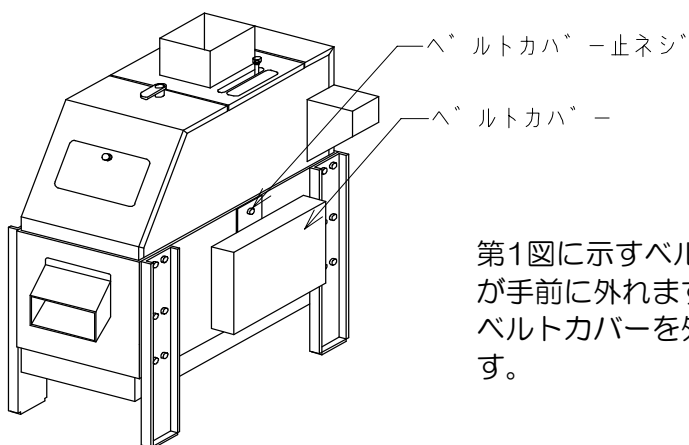
4-1 ベルトの確認



注意

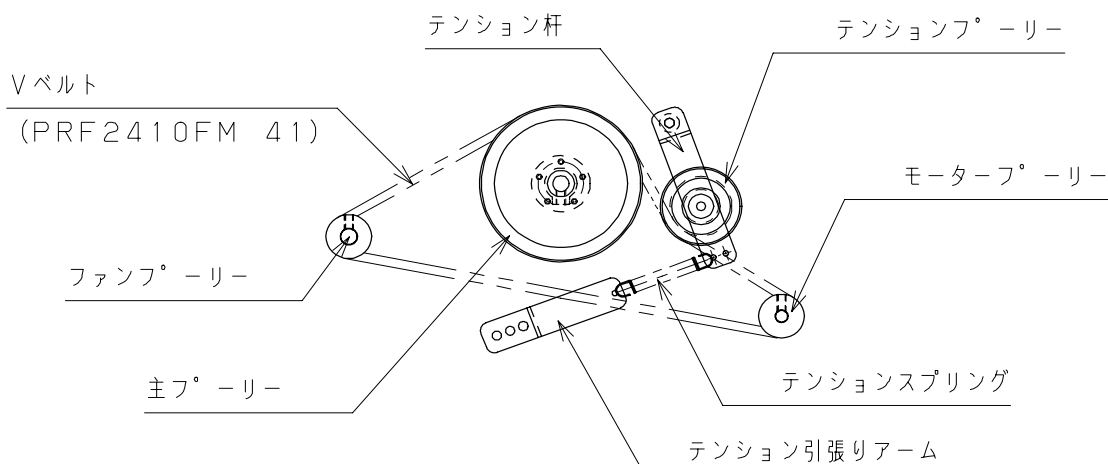
点検・掃除作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ ベルトが緩むと本機の石抜装置が正規の回転数が得られないため、能率・石抜精度の低下につながります。また、本機が過負荷状態を引き起こす原因になります。ベルトの点検は本機の運転前に必ず行ってください。



第1図に示すベルトカバー止ネジを外すとベルトカバーが手前に外れます。
ベルトカバーを外しますと第2図のようになっております。

第1図



第2図

4. 各部の調整・点検・掃除

4-2 石抜金網の掃除方法

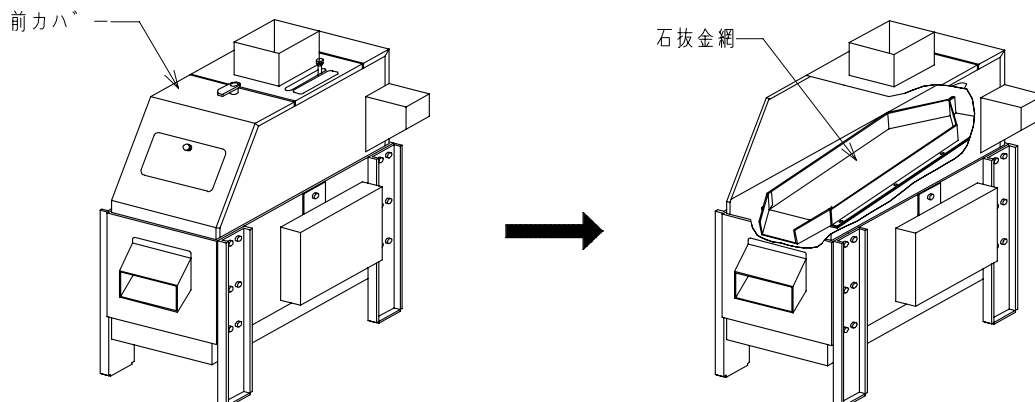


注意

点検・掃除作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 石抜金網に糠が付着し網目が塞がりますと、石抜機の能率・選別精度が著しく低下します。

石抜機の前カバーを取り外すと中に石抜金網があります。
この石抜金網を定期的にワイヤブラシ等で掃除してください。



注意

石抜金網に糠が付着したり網目が塞がりますと、石抜機の能率及び石抜精度が著しく低下します。
定期的に点検・掃除をしてください。

4. 各部の調整・点検・掃除

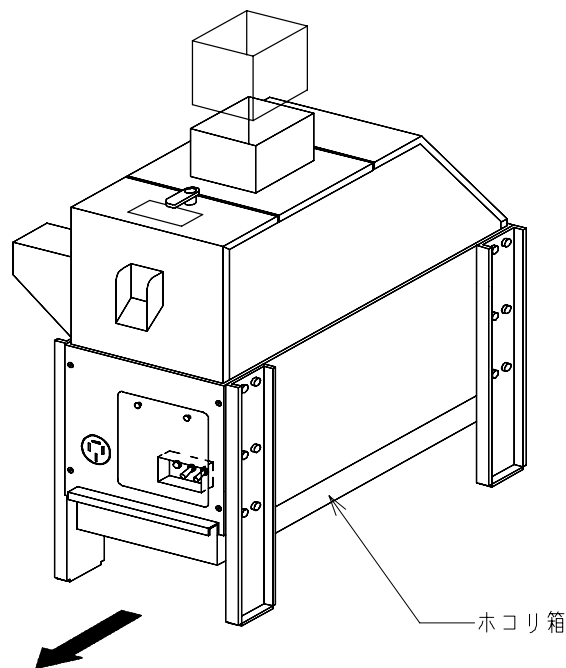
4-3 ホコリ箱（石抜機に蓄積されるホコリ・糠）の掃除方法



注意

点検・掃除作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 大量にまたは長時間使用しますと米のホコリ・糠等が石抜機底部のホコリ箱に蓄積します。
蓄積したホコリ・糠等が石抜装置の揺動部までに達しますと本機に悪影響を与えます。
定期的にホコリ箱を引き出して点検・掃除をしてください。
(2-8 ホコリ箱のセット方法参照)



注意

蓄積したホコリ・糠等が石抜装置の揺動部にまで達しますと本機に悪影響を与えます。
定期的に石抜機のホコリ箱を点検してホコリ・糠等が蓄積していないか確認して掃除をしてください。

4. 各部の調整・点検・掃除

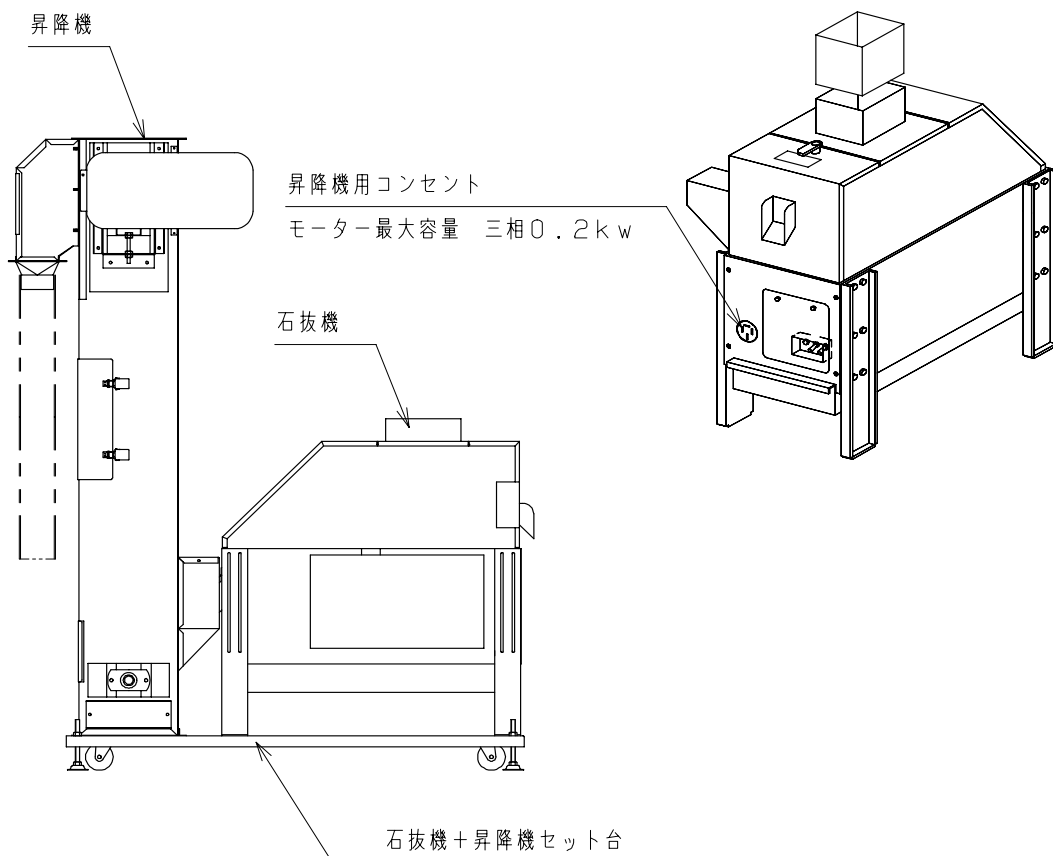
4-4 昇降機用コンセントについて



注意

点検・掃除作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

- ◎ 本機後部に昇降機を連結する時に使用するコンセントが付属しております。連結する機器のモーター最大容量は三相200V/200Wです。連結時の回転方向調整は連結側で行ってください。



5. 不調な時の原因と対策

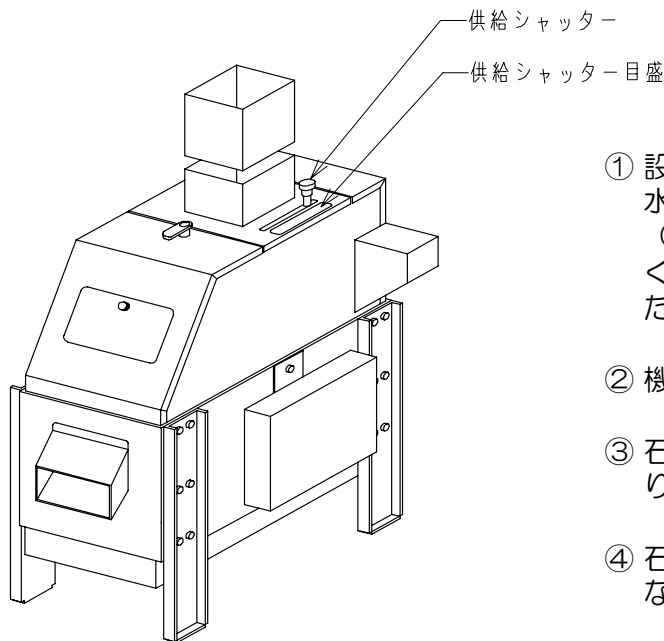
5-1 石が取れにくい場合は



警告

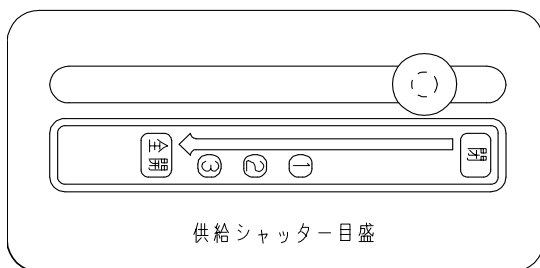
点検・掃除作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

◎ 石が取れにくい場合は下記のことにご注意して対処の程お願い致します。



- ① 設置場所（床）に「ガタ」があるまたは水平でない。
（水平器で機械が水平になるようにしてください。またガタがないようにしてください。）
- ② 機械の回転方向が逆である。
- ③ 石抜金網の網目が糠・ホコリ等で目詰まりしていないか。
- ④ 石抜機底部のホコリ箱が満杯になっていないか。
- ⑤ 能率が出過ぎていないか。
（供給シャッター目盛「2」ぐらいまで絞ってください。）


以上の点にご注意してください。



軽石・石灰石・泥塊または砂の塊・草の種等の米より比重の軽いものは選別できません。

5. 不調な時の原因と対策

5-2 不調な時の原因と対策一覧

 警告	<p>点検・掃除作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。 安全上支障をきたす場合があります。</p>
---	---

状 況	原 因	対 策
石抜機が作動しない	電源がきていない	電気工事店に調査・修理依頼
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換する
	ブレーカーが働いている	原因を調べ入れ直す
	コードが断線している	断線箇所の接続または交換
	サーマルがトリップしている	サーマルをリセットする
	モーター・電磁開閉器の不良	販売店へご相談ください
サーマルが作動する (異常ランプが点灯する)	電圧が低下している	電気工事店に調査・修理依頼
	配線が不適正	電気工事店に調査・修理依頼
	コードリールを使用している	使用しないでください
	ベルトが緩んでいる	適切な張りにしてください
	ホコリ箱にホコリ・糠が溜まっている	きれいに掃除をしてください
	モーター・電磁開閉器の不良	販売店へご相談ください
石抜に時間がかかる (能率が低下する)	モーターの回転方向が逆である	正規の回転方向にしてください
	金網に糠・ゴミが付着している	きれいに掃除をしてください
	米がクズ米・老化米・半ツキ米などである	米の状態により能率は低下します
	ベルトが緩んでいる	適切な張りにしてください
	供給シャッター開口が不適正	開口を調節してください
石が取れない	軽石・草の種・泥塊などではないか	選別できません
	米の供給が多過ぎる	シャッターの開きを調整してください
	石抜機の水平がでない	水平器で水平にしてください
	石抜金網に糠などが付着して網目が塞がっている	ガタつきがないように設置してください

6. アフターサービスについて

アフターサービスについて

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず、販売店印およびお買い上げ日を確認のうえ、お買い上げの販売店から本書を受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年

3. 修理をお申しつけされるときには

《保証期間中》

お問合せの際、販売店にご連絡ください。保証書の記載事項に基づき修理させていただきます。

《保証期間を経過している時》

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

4. 補修用部品の供給年限について《製造打ち切り後10年間》

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年と致します。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期限等について、ご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格について、ご相談させていただきます。

5. 点検・処置しても、なお不具合があるときは

下記の点を明確にしてお買い求め先までご連絡ください。

《連絡していただきたい内容》

- 型式名と機体番号
- ご使用状況は？
- どれくらい使用されましたか？
- 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しく教えてください。

本書記載以外、お客様ご自身での修理、分解や改造は、絶対にしないでください。

保証書

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、保証書を持参、ご提出の上、お買い求め先へお申し出ください。無料修理させていただきます。

※型 式 名	ストーンピッカー P-35D型	修理メモ
※機 体 番 号		
保 証 期 間	お買い上げ日より本体 1 年	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お 客 様	お名前	
	ご住所	
	お電話 ()	
※販売店名・住所	()	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- ご転居、ご贈答などで、お買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、下記の販売元へお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) お取り扱い上の不注意・天災・公害・異常電圧・指定外の使用電源による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合。
 - (ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書、本体表示などの禁止事項での使用による故障及び破損。
 - (ハ) お求め先以外での修理・純正部品以外の使用起因による故障、損傷の場合。
 - (ニ) 機能上影響のない音・振動・外観上の軽微な傷、経時変化による自然退色、発錆などの場合。
 - (ホ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷。
 - (ヘ) 一般、厨房用以外（たとえば車輻、船舶へのとう載など）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ト) 故障に起因する休業補償などの二次損失の補償。
 - (チ) 故障の発生後30日以内にお買い求め先へお申し出がなかった場合、取り外した不具合部品を紛失された場合。
 - (リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヌ) 本書のご提示がない場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は、下記のお客様窓口へお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理・補修用部品の保有期間について詳しくは、アフターサービスについての項をご覧ください。

マルマス機械株式会社

〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉2番地
TEL. 076-472-2233 FAX. 076-473-9100